



ユリの強い香りを軽くする新技術



ユリは、キク、バラ、カーネーションとともに四大花きと呼ばれていて、人気があります。ユリには様々な種類がありますが、その中で、ヤマユリ、カノコユリなど日本原産のユリを親にもつオリエンタル・ハイブリッド

という種類は、華やかで美しい大輪の花をつけるのが特徴で、その代表品種である「カサブランカ」は「ユリの女王」と呼ばれています。

◆ユリの香り

オリエンタル系のユリのもう一つの特徴は、香りが強いことです。そのため、レストランや結婚式場などの食事の場に飾るのは敬遠されています



す。また、部屋の中が強い香りでもせざるようになること
から、一般の家庭でも嫌われる場合があります。

そこでユリの産地では、花の形や大きさなどはその
ままで、香りだけを抑える技術の開発が望まれていまし
た。これまで品種改良によってほとんど香りのない品種
も作られてきましたが、オリエンタル系のユリの豪華さ

を持つ品種はほとんどありません。

◆ユリの強い香りを抑える技術

最近の研究で、ユリの香りを抑えることができる物質
(香り抑制剤)が発見されました。香りを抑えるための
使い方は簡単で、香り抑制剤を溶かした水に、ユリの切



り花を生けるだけです。
花が開くと香り成分がで
き始め、香りを抑える効
果が低くなりますので、
つぼみのうちに処理をす
るのがポイントです。現
在、香り抑制剤の製品化
が進められています。